

2020年度 第4・5回兵庫県審判アカデミー 報告

日時	第4回 2020年9月5日(土) 11:30~19:30 第5回 2020年9月26日(土) 9:00~17:00
場所	第4回：神戸弘陵高等学校グラウンド 第5回：神戸兵庫区文化センター
内容	実技、講義

報告

◆第4回：

<競技規則テスト>

暑い中、野外で競技規則テストを実施。本番までの最終テストとなった。結果は、規定の点数に満たない者がいたので、再指導を行った。

<実技>

神戸弘陵高校に協力を頂き紅白戦での実技となった。3回までは中学生であったため、スピード、コンタクトの違いを感じたと思われる。

Groeien (関西 U16) の試合において、これまで研修したことをこの場で発揮しました。しかし、試合途中から天候が急変し、雷雨となった。一時、中断をしたが、回復見込みが無く安全第一を考え中止となった。



◆第 5 回：

今回は、初めて県インストラクタートレセンとコラボ開催となった。イントレ参加インストラクターがチューターリングの手法で審判員に講義を行った。審判員から活発な意見がでたときがあった。

午後からは、内橋指導部長から事前課題（映像）について講義があり、事前課題で抽出した課題などをグループディスカッションして意見を発表した。また、川瀬関西フィットネスインストラクターからトレーニング方法についての講義があった。



心拍領域

Maximum Intensity	94～100%	Anaerobic Zone
High Intensity	86～93%	Basic Anaerobic Zone
Moderate Intensity	76～85%	Moderate Impact Zone
Low Intensity	60～75%	Low Impact Zone
Very Low Intensity	HRP～60%	Warm Up Zone



## 第2回 県審判インストラクタートレーニングセンター

2020.09.26 兵庫区文化センター



絞り込む

考えさせる

「伝わるように伝える」



講師：真殿氏（関西派遣）

### 【開催報告】

今回は、トレセン・アカデミーとの合同研修として開催しましたので、その内容をここに報告いたします。

前回(1回目)「チュータリング理論(一緒に課題を見つけ出し、丁寧に指導する考え・手法)」を学習したものを、今回はどこまで理解できたかを体现するために、各人個別テーマを与えられ、2級候補の審判員に向けてプレゼンテーションを行いました。

5人全員(持ち時間15分/人)から発表があり、審判員が気を遣ってか、概ね「分かりやすかった」との感想をいただきました。

講師として関西協会からお越しいただいた真殿 2級インストラクターからは、それぞれの「良かった点」「改善点」が述べられ、発表内容について改善していくことが今回のメインテーマとなっています。

①相手の意見を引き出させる②答えを引き出す質問力③「浅く広く」より”絞り込み”④動きながら喋る→理解度UP⑤振り返り・おさらいの重要さと必要性⑥声と文字の大きさ⑦ページ構成等、個々に対して具体的な指導・助言があり、それを受け午後から時間を設けて修正しました。

修正後、各インストラクターから改善された内容の再発表が行われ、改めて「伝え、理解してもらうことの難しさ」に直面し、今後指導するにあたって気を付ける部分を身をもって感じ、学んだ1日となりました。

報告者：指導者部



シートを利用して説明することで理解度UPを目指す！



審判員からの感想を聞く  
佐野講師（関西派遣）